



fu fu fu 幸せをかんじたとき・・・

社会福祉法人しがらき会

信楽青年寮
ワークセンター紫香寮
しがらき地域生活支援センター
甲賀働き暮らし応援センター

【法人事務局（信楽青年寮内）】
tel 0748-82-0588 fax 0748-82-0961
URL <http://www.shigaraki.or.tv> e-mail shigaraki@miracle.ocn.ne.jp

「第2回 見つける！ひろがる！しがらき know (ノ) know (ノ) 軽トラック市」ご報告

去る令和元年11月9日、法人施設である紫香寮ヴィラで、軽トラック市を開催いたしました。昨年度より少し遅い開催日で、寒くはないだろうかと心配していましたが、当日は青空が広がり、日中は汗ばむほどのお天気となりました。

今年度は、昨年度よりさらに多く出展いただくことが出来ました。人気商品とたくさんのご来場者で、早々に売り切れる商品もあり、会場はとても賑わっていました。初回からご出店していただいている松井日本蜜蜂養蜂さん・ミ田さん（皮小物）・お茶芽 drem 朝宮さん。町内在住のご親戚の紹介でご出店いただいた Angelo さん（タピオカ）。町内でも人気のお店の山本園（WITH TEA）さん。山本園さんから紹介していただいた Stephen Williams さん（陶器）。町内でご活躍されているなかのさん（たこやき）・ふじわらさん（ポップコーン）。個人でご活躍されている町内在住のたにびごさん（手づくりアクセサリ）・J's Kitchen さん（自家製コロッケ）。「子供たちが楽しめる場を」とご出店下さった放課後デイサービス、てんてんしがらきさん。11店舗の皆さん、本当にありがとうございました。一方、ステージでは、信楽町ジュニアポリスの皆さんと Wrabe Dance Studio の皆さんが初出演。「かわいらしいな、すごいな！」という声が客席から聞こえ、会場を盛り上げてくれました。ありがとうございました。まだまだ手探り状態のイベントですが、次年度も出店者さん同士が繋がったり、ご来場者には「こんなもの（店）があるんや!」と見つけたり、地域につながるイベントを目指していきたいと考えておりますのでご協力、ご支援の程お願いいたします。最後に、バザー用品をご提供下さった皆様にも感謝申し上げます。（上甲 記）

法人しがらき会 永年勤続・資格取得表彰式開催

去る令和元年11月16日（土）に、恒例となりました永年勤続・資格取得表彰式を紫香寮ヴィラにて開催いたしました。今年度は二部構成での開催となり、第一部の式典では永年勤続表彰22名、資格取得表彰者7名の延べ29名（3名の方は重複で表彰）の方々を理事長より表彰状と記念品を授与され、長年の功績と資格取得に対する功労を称えられました。

今年度は、式典の中で受賞者の皆様からコメントを頂く形で実施しましたが、それぞれの言葉にこの仕事に対する思いが込められており、当日出席した受賞者以外の職員も様々な刺激を受けたことと思います。

また、第二部の祝会においても、新たな企画として受賞者の皆様の日頃の様子をスライドにして上映し、和気藹々とした雰囲気の中で、それぞれの事業所でのどのような仕事をしているのかを知る良い機会となり、各事業所間の相互理解にも繋がったのではないかと思います。今回受賞した皆様の益々のご活躍を期待すると共に、改めてお祝いを申し上げます。おめでとうございます。（梅原 記）



〈昨年の会場風景〉



クリスマス会の報告



12月信楽青年寮でクリスマス会を開催いたしました。まず、クリスマスランチでミートローフやグラタンなどの特別メニューを利用者さんに堪能していただいたのち、青年寮職員によるハンドベルの演奏、そして利用者さんによるキャンドルサービスが行われました。厳かな雰囲気の中、大きなツリーに明かりが灯ると、歓声と拍手が沸き起こりました。それから、コーラスぎららさんによるクリスマスソングなどの合唱があり、その美しいハーモニーに利用者さんは聞き入っておられました。お待ちかねのプレゼントタイムには、サンタが大きな袋を担いで現れ、盛り上がりを見せました。一人ひとり順番にプレゼントを渡され、皆さん嬉しそうにしておられました。笑顔と笑い声にあふれたクリスマス会になり、利用者さんにとって楽しい一日になったのではないかと感じています。（隅谷 記）

FUJIKIイベントのご報告

昨年12月14日に、藤喜陶苑にてワークショップを行いました。年末ということもあり、季節感のある創作活動をということで、年明けに焦点を合わせ、しめ縄をテーマに行って頂きました。普段なかなか作ることが出来ない物ということで、「楽しかった」、「お正月が待ち遠しい」といった嬉しい感想を頂き、大人も子供も楽しめる内容となりました。

2月15日には、スノードーム作りを催しました。当初の予定では、午前午後各20名の予定でしたが、多数のお申込みを頂き、合計72名の方にご参加いただきました。「飾り付けが可愛かった」、「おやつも美味しかったです」と好評で、皆さん喜んでいただけたかなと思いました。（小森 記）



相国寺展覧会のご報告



昨年六月に滋賀県立陶芸の森で実施させて頂いた、「しがらきから吹いてくる風」〜日本・台湾・ベトナム交流展〜。今年度第二回目は、会場として、京都市内にある相国寺承天閣美術館で、二〇一九年八月二七日（火）〜九月五日（木）まで開催させて頂くことが出来ました。展覧会期間としては、約十日間と短い期間でしたが、開催中は仏教関係者はじめ京都や滋賀の方々など、多数の方に来場していただくことが出来ました。今回の展覧会は、京都市内で実施したことで、今まで信楽に足を運ばなかった人からも多く声を寄せていただくことが出来ました。今回、初めて京都で縁をいただき好評を得ましたので、しがらき会と台湾・ベトナムとの交流展が色んなつながりの中で広がっていくことを期待しています。（石野 記）

ワークセンター紫香楽より こんにちは

ワークセンター紫香楽では空き缶のリサイクル作業の為、地域の皆様のご協力で空き缶を集めています。機械に投入し潰す作業を行ってから、沢山溜まると金属として買い取ってもらえるよう納品に行っています。季節により空き缶の回収量には差がありますが、地域の方々のご協力もあり、年間を通して作業に取り組むことが出来ています。缶つぶしの作業は、現在週に2回取り組んでいます。参加される利用者さんは、皆さんとても楽しみにされていて、他の作業では取り組まなくても、缶つぶしの作業は好きで意欲的に向かわれる方がおられたり、空き缶の回収・納品の作業では自分の順番がまだかまだかと楽しみにしている方もおられます。空き缶の回収につきましては、グイラ作業場に空き缶回収BOXを設置し、いつでも空き缶を入れて頂けるようにしています。ご家庭で空き缶がございましたら、是非ワークセンターの空き缶回収作業にご協力の程を宜しくお願い致します。神山のワークセンター紫香楽本館でも、空き缶の受け取りを行っておりますので、お近くの方はお持ち下さい。

また、洗濯作業では、地域の皆様から洗濯の依頼を頂き作業に取り組んでいます。衣類から毛布まで作業させて頂いています。配達も行っておりますのでお気軽にお問い合わせ下さい。洗濯作業は現在週に1回取り組んでいます。参加されている利用者さんは、「洗濯や！」と張り切っておられる方や、他の作業に参加されている利用者さんからも「洗濯行きたい」と人気のある作業です。

どちらの作業も利用者さんは、とてもやりがいを感
じ、楽しみにされています。
今後とも作業の継続の
為に、引き続き皆様にご協
力して頂ければ幸いです。

(柴田 記)



しがらき地域生活支援センター 「うらむろ」だより

社会福祉法人しがらき会では、組織の更なる発展、向上を目指し、「組織活性化プロジェクト」と銘打って、複数の委員会を設置しております。この委員会の中の、「表彰制度委員会」における、当センターが取り組んでいる内容について紹介させていただきます。

当センターでは利用者の皆様はもちろん、保護者、関係者各位といった様々な方が来所され、支援のご依頼や相談、問い合わせがあります。そんな皆様に安心感や信頼感、心地良さを感じていただけるセンターになることを目的に、当センターでは接客マナーについての研修を定期的に行い、よりよい対応をしていくにはどのようにすればよいかを考え、少しずつ実践に繋げられるように取り組んでいます。

また、当センターは、清掃や美化活動にも積極的に取り組む、来所された皆様に心を安らげていただけるよう、さらに、快適な環境を提供できるよう、屋内外で幾ばくかですが色とりどりの花々を育てています。設置してからは、当センター前を通る方々が足を止めて花を觀賞していたりといった姿も見られるようになりました。今後もしも色とりどりの花を咲かせて、足を止めたくならないかと、来所したくなるような環境づくりを行なっていきたくて考えております。

皆様それぞれに当センターへの来所、問い合わせの内容は様々であるかと思いますが、私たちにとって大切な「お客様」であることに変わりありません。一人ひとりに寄り添ったおもてなしができるよう、そしてセンターにまた行きたい、話をしたいと思えるような、そんな場所になるように取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひ致します。

(藤田 記)



障がい者・雇用生活支援センターだより

滋賀県から「障がい者働き・暮らし応援センター事業」を受託している7センターの内の1つ、障がい者雇用・生活支援センターは、水口に支援拠点を置き、あらゆる方々と一緒に協力しながら、障がいをお持ちの方々の働きたいという気持ちを支え、働いている状態に変えていくネットワーク組織です。就職がゴールではありません。社会生活は「働きがあり暮らしがある。」また、「暮らしがあつて働きがある。」と考えます。そのために行政、教育、医療等、各専門機関と連携を取り、知識や制度を組み合わせていくことで、働きと暮らしをバランスよく続けていくためのお手伝いができるように取り組んでいます。

就労支援におけるハブセンターとしての役割を担う一員として、各関係機関との強固な連携、途切れの無いのりしろ支援を念頭に置き、日々精進していきたくて思います。

(玉置 記)



職員コラム



私は少し前に信楽から引越して、通勤で、こんげの山を越えて出勤しています。通勤時間が今まで勤めていたところは違って長くなり、最初はその道のりの長さを憂鬱に感じていました。

あるとき、出勤途中に見える風景の良さに気がきました。春は桜、夏は青々とした木々、秋は紅葉など、毎日通る道ですが、景色は季節によってどんどんと移り変わっていきます。そのことに気が付き、毎日の通勤に楽しみを持つ事ができました。これからは冬の凍結や積雪、また動物などの飛び出しには注意安全運転を心がけながら、色々な楽しみを見つけていきたいと思えます。(Y・Y)

ダブルクリック

私が毎日の業務のなかで大切にしていることは、「元気と笑顔です。」

朝、私は、出勤してきたら、大きな声で「おはようございます！」と挨拶をして一日をスタートさせています。そのときに、職員や利用者さんが笑顔で返事をしてくれば、私は最高に嬉しいし、元気とパワーを貰えているようで気が奮えます。我々が元気で笑顔で過ごす利用者さんも嬉しそうにしていただき、仕事が楽しめます。職員と利用者さんが明るければ職場の雰囲気もすくすく良くなっていくと思うので、今後も笑顔と元気を忘れず業務に取り組んでいきたいと思えます。

(上分 記)

